

『時事直言』 No.1479 2021年6月28日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](#)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](#)

[instagram] [t_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

米中冷戦時代をどう生きるか

1945年第二次大戦が終わるや否や、米ソ冷戦が始まった。

民主主義の自由主義か共産主義の全体主義かの争いと言われたが、1991年ソ連崩壊でアメリカの勝利で終わった。

その後7年間準備が進み1998年8月8日ケニアとタンザニアの米国大使館が同時に爆破され、犯人は9名のアルカイダと言う名のテロリストとされた。

9名の冤罪が決まることになっていたニューヨーク地裁の判決日2001年9月12日の前日の9月11日、被告弁護士たちが証拠と証人を集めて翌日の裁判の準備をしていたWTC(世界貿易センター)はビン・ラーディン率いるテロリストがハイジャックした飛行機の激突で崩壊した。(今日ではビル解体業者が破壊したことが明らかになっている)

2001年10月ブッシュ大統領は、ビン・ラーディンをかくまっているとして国連の承認なしにアフガンに軍事侵攻、ここからテロとの戦争、中東戦争が始まった。

2021年中に米軍のアフガン完全撤退で2001年からのアメリカのテロとの戦いは終わる。

トランプ大統領は2017年就任以来対中敵視政策を執り、アメリカの対中基本政策である「一つの中国」を無視し高官を派遣したり、破格の軍事支援を行い、バイデン政権も対中敵視を加速させている。

私は、アメリカは、日本の様に神話の世界から今日までの歴史の延長線上にある国ではなく、資本の都合によって造られた、資本のオリンピック競技場、すなわち「場」でしかないと言ってきた。

またアメリカに平和はなく、あるのは平和と言う名の戦争準備期間であるとも言ってきた。

オリンピック競技場が4年毎に変わるように「場」は変わる。

1945年から1991年間の米ソ冷戦で世界はどう変わったか。

また2001年から2021年までのテロとの戦いで世界の政治、経済はどんな影響を受けたか。

2017年からの準備が終わり、いよいよ本番、2021年から2049年まで続く米中冷戦で世界はどう変わるのか？

日本はどうなる？

過去も現在も中央銀行(FRB や日銀)の見通しは、総て予想外れでいい加減と言わざるを得ない。(2018年4度にわたる利上げ、引締め政策は全くの経済読み違いであったし、2019年とコロナの2020年の利下げと緩和続行も間違いであり、失態の露見を恐れて、引締めをするのしないのと混乱している)

誰よりも高度で詳細な情報を持つFRB(中央銀行)が何もわからないのだから、誰にとっても一寸先は闇である。

しかし私は、まるで太陽が東から昇り西に沈むが如く、すべての事象の裏に「決して変わらぬ真実」があることを知っている。

「小冊子」Vol.122で述べることは私の予測ではなく、不動の摂理が語るものと思って頂きたい。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。